

新技術紹介【エンジニアリング】

建設発生土のリサイクル事業

私たち皆川組は、自然環境をまもり、リサイクル社会に貢献します！

建設発生土のリサイクル事業を行っています。(新潟県土質改良事業協同組合)

我が国の建設発生土の場外排出量の総量は、約 2 億 8000 万³m (平成 12 年度調査)に及んでいますが、工事間で利用されているものはわずか 3 割 (約 8400 万³m) です。

これは、建設工事における土砂利用量 1 億 5600 万³m の約 5 割に過ぎません。

また、建設発生土の約 7 割は、内陸受入地に利用されています。

この結果、大量の土砂の放置により自然環境・生活環境に影響を及ぼすと共に、土砂利用量の約 5 割を占める新材の採取により、自然環境に影響を及ぼしています。

一方、平成 15 年度に国土交通省より策定された「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」において、平成 17 年度に目標とした再利用率 (80%) には至っていないことから、なお一層の再利用が求められています。

当社は新潟県土質改良事業協同組合 (ESR 工法) の組合員です。

(ESR 工法) は、国土交通省の新技術情報システム『NETIS』(国土交通省新技術情報提供システム)及び新潟県の新技術普及・活用制度『Made in 新潟』に登録されています。

新潟県土質改良事業協同組合 <http://www.niigata-sia.or.jp>

『NETIS』(国土交通省新技術情報提供システム) <http://www.kangi.ktr.mlit.go.jp>

『Made in 新潟』 <http://www.shingijutu-niigata.jp>

新潟市内には 4 箇所の土質改良センターがありますが、当社は北新潟土質改良センターの施設運営を行っております。

北新潟土質改良センター 〒950-3368 新潟市北区森下 674 番 1
TEL : 025-388-2601 FAX : 025-388-3352

下水道管、上水道管、農業用水、排水管等を管更生により、管の長寿命化に努めます！

当社は、JPR・日本管更生技術協会（傘下団体、NPR・新潟県管更生技術協会）及び新潟県下水道管理維持改築協会の会員です。

JPR・日本管更生技術協会 <http://www.jpr-ta.com>

NPR・新潟県管更生技術協会会員

新潟県下水道管路維持改築協会会員

管更生技術工法紹介

<（財）下水道新技術推進機構より技術審査証明を受けているもの>

- ・ EX・ダンビー工法（<http://www.ex-danby.jp>）
- ・ C - ONE 工法（<http://www.jpr-ta.com>）・スルーリング工法（<http://www.jpr-ta.com>）

（財）下水道新技術推進機構・・・（<http://www.jiwet.or.jp>）

<国土交通省の新技術情報提供システム『NETIS』に登録されているもの>

- ・ アクアライナー工法（<http://www.jpr-ta.com>）

<農林水産省の新技術候補『ARIC』に登録されているもの>

- ・ アクアライナー工法 ・ C - ONE 工法 ・スルーリング工法（<http://www.aric.or.jp>）